

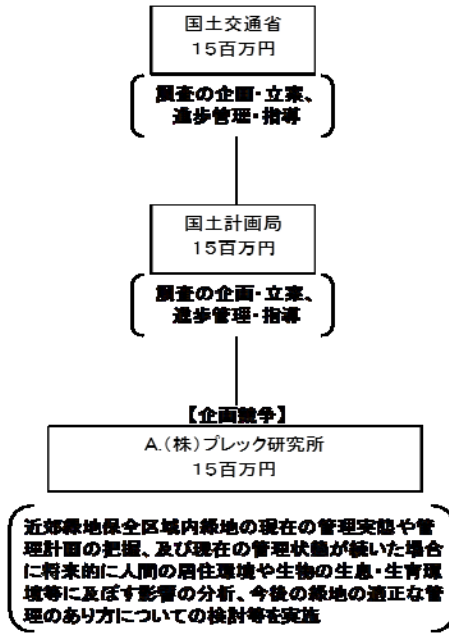
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	近郊緑地における管理活動推進		<b>担当部局庁</b>	都市局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度～		<b>担当課室</b>	都市政策課		<b>課長</b>	東 潔	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	37 総合的な国土形成を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	首都圏近郊緑地保全法 近畿圏の保全区域の整備に関する法律				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>第3次生物多様性国家戦略(平成19年11月27日閣議決定)では、都市における生物多様性の保全を図るうえで、近郊緑地保全区域についても保全を図るべき重要地域として位置づけられている。また、国土形成計画全国計画(平成20年7月4日閣議決定)においても、都市住民等の森林づくりや緑地の保全活動などへ直接参加する取組の進展を目指し、体系的な支援方策について検討が必要とされているところである。これらを踏まえ、近郊緑地保全区域の望ましい植生計画と保全計画を検討するとともに、行政と民間企業・市民団体との協働による緑地の維持・管理・活用のあり方を検討することを目的に調査を実施する。</p>							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近郊緑地保全区域の緑地の状況・管理実態について調査</li> <li>・現在の管理状態が続いた場合に予想される緑地について検討</li> <li>・望ましい植生計画と保全計画を検討するとともに、保全管理活動を行う民間企業や市民団体との連携方策について検討</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	/	20	20	12	0	/
		補正予算	/	0	0	0	/	
		繰越し等	/	0	0	0	/	
		計	/	20	20	12	0	/
	執行額	/	9	15	/	/		
	執行率(%)	/	45.5%	76.1%	/	/		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国土の利用、整備及び保全に関する国民意識の醸成		成果実績	百万円	/	9	15	12
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	/	1	1	( ) ( )
<b>単位当たりコスト</b>	15,000,000 (実績額/調査実施件数)		算出根拠	15(百万円)÷1(件)=15(百万円)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.3	0	H23廃止				
	国土形成推進調査費	11.7	0					
計	12	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・昨年の指摘をふまえ、国が調査を行う必要性については、近郊緑地保全区域は国が指定する区域であることをふまえて、地方公共団体からの要望などを通して必要性を確認している。また、調査の重点化については、大都市圏政策の中での広域的な緑地に求められる機能をふまえ、生物多様性の保全などを中心に検討項目の重点化を行ったところ。</p> <p>・発注先の選定にあたっては、平成22年度行政事業レビューの予算監視・効率化チーム所見を踏まえ、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、企画競争委員会における外部の有識者委員会による審査を導入し、より透明性・公平性の確保を図る。</p> <p>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、近郊緑地における管理活動推進のための方策、とりまとめに向け調査内容に過不足はないかなどを確認している。</p> <p>・調査終了後、完了時の検査を通じて、発注先より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善 ⑤		<p>・国が主導すべき大都市圏戦略との関係を整理した上で、過年度の成果を踏まえ、近郊緑地制度の見直しに向けた検討に重点化し、早期に結論を得られるよう事業内容を見直す。また、より少ない予算で十分な政策効果を得るよう見直す。</p> <p>・事業実施の効率化については一定の改善が認められる。引き続き不断の改善を行う。</p>	
① ④			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
近郊緑地制度の見直しに向けた調査検討に重点化を図るとともに、他の関連する事業メニューと整理・統合することにより事業の効率化を図る。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(株)ブレック研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	近郊緑地保全区域内緑地の現在の管理実態や管理計画の把握、及び現在の管理状態が続いた場合に将来的に人間の居住環境や生物の生息・生育環境等に及ぼす影響の分析、今後の緑地の適正な管理のあり方についての検討等を実施。	15			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレック研究所	近郊緑地の管理のあり方に関する検討調査	15	随意契約(企画競争)	99.5%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					